



教育研究所だより

令和3年度 No.29 (394号)

令和4年 3月25日(金)

発行所:いの町教育研究所

1年間 ご協力ありがとうございました



いの町各園・学校の教職員の皆様、関係機関の皆様、本年度も教育研究所の各種事業にご理解とご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

皆様のおかげで、たくさんの事業・研修等を滞りなく終えることができました。教育研究所職員一同、心よりお礼申し上げます。

新年度も、教職員の研修を中心に、皆様のお力になれるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

研究集録「いの」・研究のまとめ小冊子完成

各小中学校での研究主題や教育課題に沿って進められた研究実践や、部門別研究での研修等の記録をまとめた研究集録「いの」を先日の校長会にて配布させていただきました。それぞれの学校の校長先生をはじめ、研究主任、各部会の部長、その他原稿執筆に関わってくださった多くの皆様に厚くお礼申し上げます。

また、所外研究部会(グループ研究・個人研究)のまとめの小冊子も、小中学校へ1冊ずつ配布いたします。ぜひ、ご覧ください。

所外研究部会(個人研究・グループ研究)実践報告

3月15日(火)の校長会で、所外研究部会の二つの実践報告がありました。

個人研究	グループ研究(菊池実践部会)
◎研究員 田村 佐緒里 教諭(吾北中)	◎研究員 池尻 早紀 矢野 大輔(伊野南小)
◎研究主題 生徒が主体的に学ぶ国語科の授業	江本 美咲(伊野小) 岡本 千夏(神谷小) 小笠原 由衣(研究所)
	◎研究主題 菊池実践を活かした学級経営と授業づくり

「走れメロス」の授業では、発問の工夫により、生徒が楽しみながら主体的に学ぶ姿がよく分かりました。様々な取組により、自分の考えを表現しようとする生徒が育っていました。生徒が国語の授業を楽しんでいる姿が想像できる発表でした。

菊池先生の実践に学び、「主体的・対話的で深い学び」を目指して研究したことが分かりました。研究することで、各部員の自信につながり、日々の学級経営等に活かせる取組となっていました。

研究所図書返却について

本年度も研究所図書をご活用くださり、ありがとうございました。

まだ図書をお持ちの方は、3月末までにメール便等で研究所へ返却をお願いします。



3月11日(金)、川内小学校では、新入学児が在籍する保育園と、引継ぎのための保小連絡会を実施しました。

実施にあたり、事前に、右下の資料「保小連絡会でお話いただきたいこと」を保育園にお渡しし、子どもたちの好きな歌や遊び等について、個別の引継ぎにあわせて各園の取組についてもお話いただけるようにしていました。

当日は、資料をもとに、各保育園から子どもたちの経験を通した遊びをたくさんお聞きすることができました。保育園で子どもたちが慣れ親しんでいる活動を、スタートカリキュラムに取り入れることで、小学校生活のスタートをよりスムーズにしていきます。

保育園から一人で入学することに不安な気持ちを抱いている子どもにとって、好きな歌や遊びが小学校でも継続されることで、「わくわく感」を持ち、安心して学習に取り組むことができるようになるのではないかと考えています。

新1年生が好きな歌や遊びを紹介します♪

あいの保育園

【歌】

英語のうた(ABC、ようび、からだあそび)

英語が大好き!

【手遊び】

なべなべそこぬけ、かもつれっしゃ、おてらのおしょうさん

【室内・外遊び】

ブロック、こままわし、すごろく、かるた、こおりおに、さらこなづくり

伊野保育園

【歌】

きせつのうた

【手遊び】

ぺんぎんマークのひゃっかてん

【室内・外遊び】

ぬりえ、おりがみ、ままごと、おにごっこ

ダンスも大好き!

川内保育園

【歌】

ゆき、にんげんっていいな

【手遊び】

おちた おちた、かみなりどんがやってきた

【室内・外遊び】

おにごっこ、けいどろ、ばななおに、いちりんしゃ

J-popが大人気!

保小連絡会でお話いただきたいこと

川内小学校

小学校では、子どもたちが幼稚園や保育所での生活から、小学校生活にスムーズに適應できるよう、スタートカリキュラムを作成しています。そこで、第2回保小連絡会では、以下の項目についてお話しいただき、入学後の指導の参考にさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

◆ 子どもたちが好きなものや、興味・関心をもっているものについて

・歌

・手遊び

・室内遊び

・外遊び

◆ 小学校に伝えておきたいことについて(着替えや給食の配膳の仕方など)

資料「保小連絡会でお話いただきたいこと」

新1年生が、安心して新たな環境での生活をスタートするために、受け入れる側である小学校が「知りたいこと」を知り、送り出す側である保育園等が「伝えたいこと」を伝えることができるような保幼認小連携・接続への取組を学校全体で推進していきたいと思っています。

教育研究所より

各園・学校では、新型コロナウイルス感染拡大という大変な状況の中で、校種間連携について、日々、様々な取組をされてきたことだと思います。子どもたちの育ちや学びが円滑に接続され、新たな学年、新たな学校において活かされることを願っています。